

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	選択ダンススキル 8（選択Lock）	
科目基礎情報							
開設学科	ダンスパフォーマンス科		コース名	全コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	SORI			実務経験の有無・職種	有 プロダンサー		
学習目的							
この科目ではオールドスクールの中でも最もポピュラーなLockのダンススキルをより専門的にマスターするレッスンをを行います。リズムトレーニング、ステップなどの習得したうえでフリーで踊れるダンススキルを身に付けます。ストリートダンスの基礎力・表現力を付けたうえで、フリースタイルや振付を作ることも授業の中で行っていく予定です。							
到達目標							
この科目ではLockダンスの基礎力の強化とフリーでダンスを表現できる応用力を持ったダンサーの育成を目指します。振付だけでは無く音楽を感じる、グループを身に付ける能力も延ばします。そのためリズムトレーニングとステップ練習は毎回必須となりますので、毎授業の前に復習をしてくることで授業の理解度が高まります。							
教育方法等							
授業概要	ストレッチ、リズムトレーニング、ステップ練習をベースに毎回テーマに沿った振付を行いグループを養います。また授業内でソロダンス、フリーダンスの研究、実演を行いダンサーとしての応用力を養います。学生がお互いの振付やフリースタイルの発表を見る事で表現力や構成力の向上もはかります。						
注意点	レッスンで学んだスキルでその場で出来なかったものは必ず次回レッスン時までに練習してくる。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	Lock基礎①		ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（アップリズム）				
2回	Lock基礎②		ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（ロック、トゥエル、ポイント）				
3回	Lock基礎③		ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（ペイシング、ギビングファイブ）				
4回	Lock基礎④		ストレッチ・リズムトレーニング・ステップ（ダブルクラップ、スクーポップ）				
5回	Lock応用⑤		ステップを応用したコンビネーション（ドン・キャンベルロック・ウォーク、リオ・ウォーク）				
6回	Lock応用⑥		ステップを応用したコンビネーション（ロッカーズステップ、スキーターラビット）				
7回	Lock応用⑦		ステップを応用したコンビネーション（ストップアンドゴー、ウィッチ・アウェイ）				
8回	Lock実践演習①		短い振付による表現と基礎				
9回	Lock実践演習②		短い振付による表現と基礎確認				
10回	フリーダンス①		ステップやテクニックを取り入れたフリーダンス制作				
11回	フリーダンス②		ステップやテクニックを取り入れたフリーダンス制作・発表準備				
12回	フリーダンス③		ステップやテクニックを取り入れたフリーダンス発表				
13回	総合演習①		長い振付による表現学習（ステップ～ウォーク）				
14回	総合演習②		長い振付による表現習得（ワンコーラス通した流れの中で振付を完成させる）				
15回	まとめ		理解度確認・個人別実技発表				